

# 第一 普通会計

## I 決算の概要

令和3年度の県内40市町村の普通会計決算における特徴は次のとおりである。

### 1 決算規模

○決算規模は、歳入7,836億6,352万円、歳出7,531億5,150万円

○対前年度伸び率は、歳入10.4%の減、歳出11.6%の減

### 2 収 支

○実質収支は251億2,597万円の黒字（実質収支が赤字の団体は0団体）

○単年度収支は72億9,405万円の黒字

○実質単年度収支は106億9,961万円の黒字

歳入歳出差引額（形式収支）は、305億1,202万円の黒字であり、これから翌年度に繰り越すべき財源53億8,606万円を控除した実質収支は、251億2,597万円の黒字となった。

今年度の実質収支から前年度の実質収支を差し引いた単年度収支は、前年度の38億1,200万円の黒字から72億9,405万円の黒字となった。

単年度収支に財政調整基金積立額と地方債繰上償還額を加えた額から財政調整基金取崩額を差し引いた実質単年度収支は、前年度の3,471万円の赤字から106億9,961万円の黒字となった。

### 3 歳 入

○歳入の対前年度伸び率は、

①地方税は、法人市町村民税の増などにより、0.9%の増（前年度0.9%減）

②地方特例交付金等は、新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金の増などにより

155.2%の増（前年度35.7%減）

③地方交付税は、普通交付税の増などにより8.6%の増（前年度1.3%増）

④地方消費税交付金等は、地方消費税交付金の増などにより11.8%の増（前年度22.7%増）

⑤国庫支出金は、特別定額給付金給付事業費補助金の皆減などにより33.7%の減（前年度129.5%増）

⑥地方債（臨財債除き）は、八戸市総合保健センター整備事業、鯉ヶ沢町新庁舎建設事業、南部町統合庁舎建設事業の終了などにより、29.3%の減（前年度1.6%増）

となったことなどから、歳入全体では10.4%の減（前年度22.7%増）

歳入の主な内訳は、地方交付税2,206億2,759万円（構成比28.2%）、地方税1,510億5,767万円（構成比19.3%）、国庫支出金1,837億3,379万円（構成比23.4%）、地方債590億4,960万円（構成比7.5%）、県支出金523億1,487万円（構成比6.7%）となっている。

#### 4 目的別歳出

○目的別歳出の対前年度伸び率は、

- ①総務費は、特別定額給付金の皆減などにより、56.8%の減（前年度157.3%増）
- ②民生費は、子育て世帯等臨時特別給付金及び住民税非課税世帯等臨時特別給付金の増などにより、12.7%の増（前年度1.8%増）
- ③衛生費は、新型コロナウイルスワクチン接種事業の増などにより、12.1%の増（前年度6.2%増）
- ④教育費は、八戸市美術館整備事業の減、十和田市市民文化センター長寿命化改修工事事業の減、むつ市総合アリーナ整備事業費の減等により、10.2%の減（前年度5.6%増）

目的別歳出の主な内訳は、民生費が2,684億8,567万円（構成比35.6%）、総務費が937億7,739万円（構成比12.4%）、教育費が761億6,101万円（構成比10.1%）、土木費が783億7,114万円（構成比10.4%）、公債費が718億3,004万円（構成比9.5%）となっている。

#### 5 性質別歳出

○義務的経費の対前年度伸び率は、

- ①人件費は、退職手当の減などにより、1.1%の減（前年度6.7%増）
- ②扶助費は、子育て世帯等臨時特別給付金、住民税非課税世帯等特別給付金の増などにより、18.8%の増（前年度1.5%増）
- ③公債費は、地方債元利償還金の減などにより、0.5%の減（前年度0.7%減）となり、義務的経費全体では9.2%の増（前年度2.3%増）

○投資的経費の対前年度伸び率は、普通建設事業費において、南部町統合庁舎建設事業の減、十和田市市民文化センター長寿命化改修事業の減などにより18.2%の減（前年度3.5%減）となり、全体として18.1%の減（前年度4.3%減）

○その他の経費の対前年度伸び率は、

- ①物件費は、新型コロナワクチン接種事業の増などにより、6.0%の増（前年度6.2%増）
- ②補助費等は、特別定額給付金の皆減などにより、55.9%の減（前年度167.2%増）
- ③積立金は、財政調整基金及び減債基金への積立の増などにより、73.8%の増（前年度9.8%増）

○歳出全体では11.6%の減（前年度22.8%増）となった。

義務的経費の歳出総額に占める割合は、前年度の37.1%から8.5ポイント増加して45.6%となっている。

投資的経費の歳出総額に占める割合は、前年度の12.3%から1.2ポイント減少して11.1%となっている。